

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

22年3月17日提出

所属	職名	氏名
文	教授	井上雅夫
研究題目	皇帝権と法王権の関係	
研究成果の概要	<p>今年度も上記の研究題目に亘り一般に封建法王とされるホノリウス2世について研究し、「ホノリウス2世(パトリシウス教皇)」と称する諸問題 - ローマとドイツの間 - (4)と題し、文化学年報第59輯(平成22年3月発行)に発表した。この発表をもちホノリウス2世についての研究はひとまず完結することになったが、今年度はローマの使節に関連してケルシウス(ア)の立場について、さらに特にロートリンゲン大公ゴットフリートの動向とその評価について研究した。特にこのゴットフリートの研究によって皇帝権と法王権の関係と称する諸問題が二元論的な視点では捉えられなくなることが一層明らかになったと思ふ。</p>	